



全旅連青年部長・特別功労賞

部員拡大部門

滋賀県旅館生活衛生同業組合青年部

対象期間中の
新入部員の数

7名

まず県旅館組合加入旅館・ホテルから入部対象者を割り出し、各部員が電話で説明。その後、正副部長が直接足を運び、活動内容などを説明し、今回の事業にオブザーバーとして参加いただける様に事前活動を行いました。事業では、仕入れ方について学ぶ「仕入れ単価の削減」、皆で宿の自信がある点や悩みについて考える「我が宿の自慢と欠点」、家族で琵琶湖の自然に触れ絆を深める「家族例会」など講師を招かず、現部員の生の声や悩み、疑問を聞いてもらう勉強会を開きました。オブザーバーとして若いご子息や従業員を招き、生の青年部を見てもらおう、参加すると即実践に役立てられる話が聞けるということを知ってもらおうと実施した結果、参加者から良かったとの声をいただき、結果として7人の部員増加につながりました。

全旅連青年部長・特別功労賞

部員拡大部門

東京都ホテル旅館生活衛生同業組合青年部

対象期間中の
新入部員の数

5名

東京都青年部では、会員拡大、会員のスキルアップを目的に数多くの勉強会を行っています。B・Tキャピタルの渡邊清一朗氏による「経営改善のポイント」、佐久間克文部長の「芝大門ホテルの経営理念」、虎屋の黒川光博氏の「老舗の経営理念—伝統と革新」など12回の勉強会や国立能楽堂での能狂言鑑賞会などを実施し、この実績を新入会員勧誘の際に資料として提示することで、平成17年4月からの会員純増数は5人と新規会員獲得につながっています。

また、既存会員についても様々なジャンルの勉強会を行うことで、バランス感覚に豊かで、自由な発想ができる革新的経営者になるための一助になると考えています。

全旅連青年部長・特別功労賞

部員拡大部門

北海道ブロック青年部

対象期間中の
新入部員の数

8名

北海道ブロックでは各支部長を先頭に新規入会可能者の掘り起こしをし、第1段階で北海道ブロック大会にオブザーバーとして参加してもらいました。大会では野口理事長に「問題があるから自分がわかる」と題し講演をいただき、参加した入会可能な方々にも経営哲学を学んでいただきました。第2段階を「聴・感・伝・磨」実践経営研修会とし、阿寒湖温泉「あかん遊久の里鶴雅」の大西雅之社長の講演と施設見学を実施。親組合施設からも参加があり、青年部活動への理解、新規部員増強の達成につながったと考えています。

また、親会との懇談会や役員会などで青年部部員拡大を要望するなど親会の理解・協力を得て部員拡大を推進しています。